

2025 年 09 月 09 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【日本の政治は、外国為替市場の材料にならない】

この前の日曜日（2025 年 9 月 7 日日曜日）に、石破首相は、自身が総裁を務める自民党が選挙で 2 度大敗したことを理由に、自民党総裁を辞任することを表明した。

自民党総裁を辞任することは、つまり、首相を辞任することになる。

+++++

先週の金曜日（2025 年 9 月 5 日金曜日）のドル／円のニューヨーク・クローズ（ニューヨーク市場終値）は、147 円台前半程度（147.40 アラウンド）だった。

それに対して、週明け月曜日（2025 年 9 月 8 日月曜日）のドル／円は、上述のニュースを材料に、窓（Gap）を空けて、大きく上昇して始まった。

つまり、マーケット（外国為替市場）は、「円売り」「円安」に動いて始まった。

この日（2025 年 9 月 8 日月曜日）のシドニー市場のドル／円は、148 円台前半程度でオープンした。

だから、窓（Gap）は、147 円台ミドルから 148 円台前半程度と言える。

そして、この日（2025 年 9 月 8 日月曜日）の朝方の東京市場のドル／円は、さらに上昇して、148 円台ミドル（148.50-55 程度）の高値を付けている。

しかし、この 148 円台ミドル（148.50-55 程度）の高値を付けてからは、下落に転じている。

この日（2025 年 9 月 8 日月曜日）の一日（24 時間）の値動きを俯瞰して見れば、上述の窓（Gap）を埋めるように下落した一日（24 時間）と言える。

+++++

今回のコラムでは、石破首相のニュース、すなわち日本の政治がテーマ（材料）であるが、その影響は、実質的には週明け月曜日（24 時間）だけだった、と考えます。

+++++

個人的な考えですが、過去のコラムでも、
「日本の政治は、外国為替市場の材料にならない」
と、何度も述べています。

果たして、それが良いことなのか、悪いことなのか？

要するに、世界から見れば、日本の政治は、注目されていない、ということ。

個人的には、残念ではあるが、良し悪しで言えば、悪いことだろう。

経済に関しては、日本は、世界でも重要国なのだろうが、政治は三流国ということだ。

最近の日本は、経済も二流国程度なので、それも非常に残念に思います。

+++++

ほぼ同じタイミングで、フランスも首相が辞任して、フランスの政治も混乱している様子なのだが、このニュースも、それ程、外国為替市場の材料になっていない。

日本の政治と同じ、ということなのだろう。

つまり、それ程重要視されていない、ということ。

+++++

(2025 年 09 月 09 日東京時間 15 : 00 記述)